進路指導だより

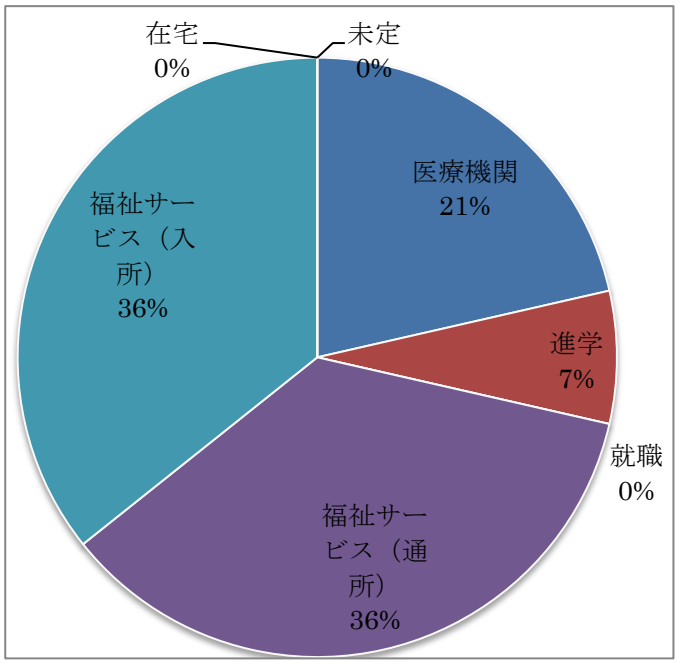
秋田県立秋田きらり支援学校
第３号
平成２７年３月１１日発行

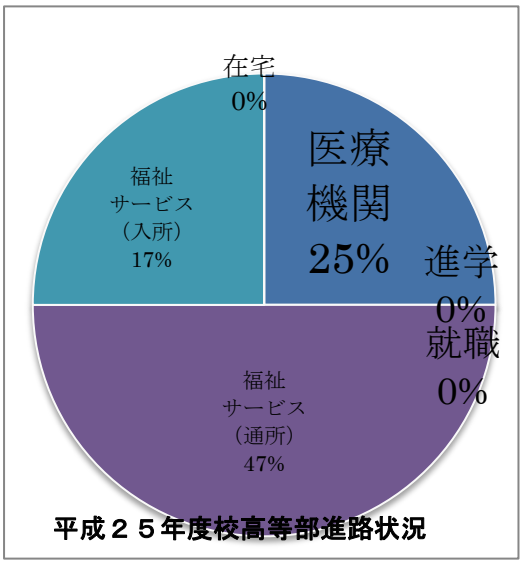
平成２６年度進路状況

今年度の高等部卒業生の進路状況についてお知らせします。

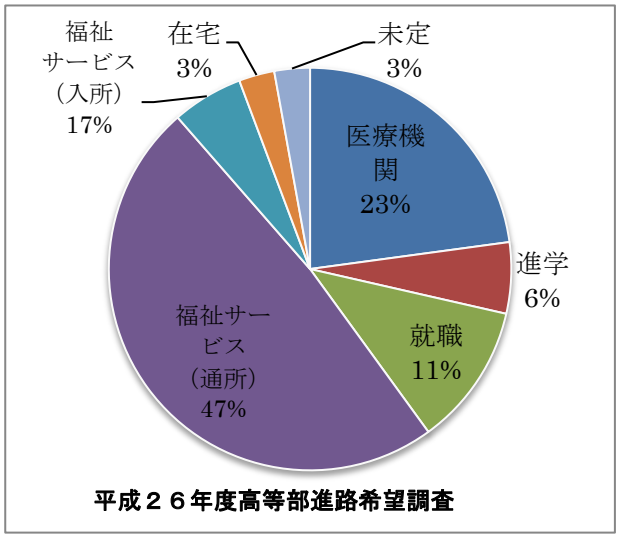
進路先としては、福祉サービス（通所施設）と福祉サービス（入所施設）が３６％と一番多く、次いで医療機関２１％、進学７％となっています。

昨年度の進路状況の結果と今年度５月に行った進路希望調査の高等部の結果も併せて掲載いたしますので、比較参考にしていただければと思います。





平成２５年度校高等部進路状況



平成２６年度高等部進路希望調査

平成２６年度　同窓会入会式

２月 19 日木曜日に平成 26 年度卒業生の同窓会入会式が行われました。入会者の呼名では、卒業に向けて一層身が引き締まった雰囲気を感じました。今年度入会生からも、「同窓会生の一員となり、うれしさと、その責任を感じています」という声が聞かれました。

中学部作業強調週間が行われました（12/11～12/16　）

今年度、初の試みとして４日間の作業強調週間を行いました。同じ工程や担当で作業を行い、始め、終わりの会、日誌の記入なども作業学習と同様に行いました。一日を通して同じ作業でしたが、集中してじっくり取り組むことができました。

長時間の作業は、出来高の伸びが感じられ、意欲が高まったようでした。また、よい姿勢での作業、はきはきした返事、大きな声での報告ができるなど、生徒自身が考え取り組むことができました。４日目には自信が感じられ、いぶきの里等での販売活動に向けて、さらに意欲が高まりました。

中学部作業製品

油吸い取りパック・油グッバイ

牛乳パックを細かくした吸収剤が入っています

牛乳パック解体

解体したパックをミキサーにかけて細かくしています

ミキサーにかけた物を袋詰めして吸収剤を作っています

「確認をお願いします。」

指編みでアクリルたわしを編んでいます。

今年度を振り返って

卒業生が新たな世界へ巣立ちます。進路指導部としては、個々のニーズに柔軟に対応すること、そのために関係機関とより密接な連携を図ることに努めてまいりました。なかなか行く先が決まらないケースも、ご家族のご努力と、児童生徒のため奮闘してくださる各関係者の力によって、道筋を見いだすこともありました。

行く先が決まったとはいえ、ここからが本当のスタートです。学校としても、送り出した卒業生の生活がより充実していく様を、しっかりと見つめてまいりたいと思います。

また、卒業後の生徒をとり巻く方々の理解をいただくために、「このような手助けがあればこの子はこんなことができる。こんな笑顔を見せることができる。」とアピールする力も、もっとつけていかなければと考えています。

（進路指導主事　齋藤行正）